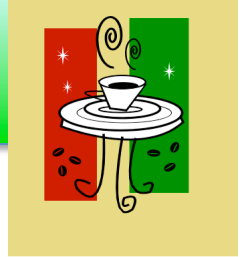




# 身心一体科学で120歳まで 元気に生き生きと サイエンスカフェ

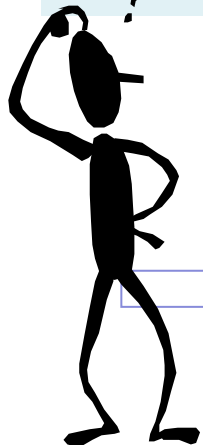


主催：日本学術会議、文部科学省（全4回）

**「自分が生きていること」をサイエンス**してみませんか。フロアの皆さまとの双方向コミュニケーションで進行する参加・体験型のカフェです。

- 日時 平成23年7月20日（水） 18:30~20:30
- 場所 文部科学省情報ひろばラウンジ（旧庁舎1階）
- 講師 **飯田貴子**（日本学術会議連携会員、帝塚山学院大学教授）
- コメンテーター **上野千鶴子**（社会学者、日本学術会議会員、ウィメンズアクションネットワーク理事長）
- ファシリテーター **跡見 順子**（身体生命科学者、日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授）
- テーマ **スポーツのジェンダー構造を読む**
- 定員 30名（申込み:科学技術週間HP：<http://stw.mext.go.jp/>から）

2010年W杯、サムライジャパンのベスト16快進撃は日本中を歓喜させました。一方、なでしこジャパンの北京五輪ベスト4は、どれだけ日本人の心を揺さぶったのでしょうか。人間活動の中で最も文化的であるスポーツはまた、男性の優位を示すシンボルともなりがちです。人間として生きるコアの根本的な何か欠けたまま、文化も科学技術も突っ走っているような気がしてなりません。カフェでは、講師が読み解くスポーツをジェンダー論に、ジェンダー論の第一人者の上野千鶴子さんと、「いのちの科学」からの人間復活創成を志向している跡見順子がファシリテータとして参加し、「元気な日本の新生」を担う女性と身体・運動・スポーツについてともに考えたいと思います。



考えるだけでいいのだろうか？

やってみないと分からないよ！

からだでやってみる：試行錯誤

ことばと論理でも理解する

